

はほまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.98
特別号
2022.12



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

日頃より、歯舞地区マリンビジョン協議会に対し多大なるご理解・ご協力、ご声援をいただき誠にありがとうございます。

当マリンビジョン協議会は平成18年の発足当時から、地域の活性化を図るべく「最東端の海からのメッセージ」をキャッチフレーズに、水産物のブランド化(一部会一品運動)、地元催事の開催、水産教室、北方領土県民会議や旅行会社のツアー受入れ、漁民泊の受入れ等を実施してきました。また、これらの取組をSNS等で積極的に紹介したり、全国各地で講演会を開催するなどして、広く情報発信を続けてきました。

今年度は念願の漁協新施設・人工地盤施設が完成し、供用開始となりました。当マリンビジョンが目指す地域振興の中心となる施設です。地域の皆さんや観光客に親しまれる場所となるよう、これからも積極的に活動をしていきたいと思っております。

今年度の当協議会の活動を以下に一部ご紹介いたしますので、是非ご一読ください。

歯舞漁協新施設・人工地盤施設 完成

令和4年1月31日に、歯舞漁協の新施設「衛生管理型市場・事務所・購買店舗・直販店舗・昆布加工場・防災施設」が完成いたしました。その後人工地盤施設のアクセス道路工事も完了し、9月より供用開始となりました。

平成16年度に「衛生管理型漁港づくり検討委員会」を設立して以来、長きにわたり歯舞漁港における衛生管理方針について検討を続けてまいりました。

新施設は、密閉型の高度衛生管理型市場、災害時の一時避難施設、歯舞産ブランド水産物をPRするための海業支援施設が一体的に整備され、地域の水産物生産・流通拠点としてのシンボリックな施設です。

また、人工地盤2階からは水産物の陸揚げ状況を見学できるほか、施設内には産地市場やセリ場、昆布製品加工施設等が見学できるスペースも設けており、地域住民や観光客にも親しまれる施設を目指しています。

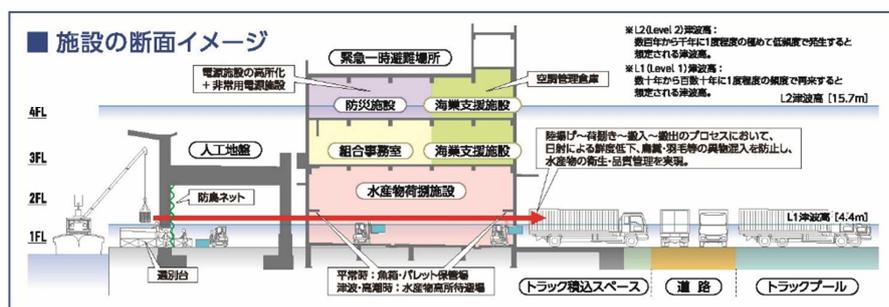
さらに、地域マリンビジョンで取り組んでいる本土最東端のパノラマクルーズや漁業体験、渚泊等の拠点として、都市漁村交流の更なる推進を目指していきます。



人工地盤海側



歯舞漁協新施設・人工地盤施設 全景



施設の断面イメージ (パンフレットより)

歯舞漁協新施設



荷捌き室（高度衛生管理型市場）



一般見学スペース



一般見学スペースから見たセリ場



防災一時待機室 1



作業室



信用部（JF マリンバンク）

歯舞漁港人工地盤施設



人工地盤海側 屋根付き岸壁



人工地盤2F（駐車場）



秋サケ定置網 陸揚げ状況



秋サケ定置網 陸揚げ状況（人工地盤2F）



秋サケ定置網 陸揚げ状況（人工地盤2F）



秋サケ定置網 陸上搬入状況

歯舞漁港高度衛生管理型施設 供用開始記念式典

8月30日（火）、歯舞漁協1階荷捌施設にて、「歯舞漁港 高度衛生管理型施設供用開始記念式典」を執り行いました。

こうして完成記念式典を迎えることができたのも、たくさんの関係者の方々にご協力を頂いたおかげです。心より感謝申し上げます。



学生の施設見学受入れ

<東海大学海洋学部の学生が研修>

6月4日(土)～6日(月)の3日間の日程で、根室市と東海大学静岡キャンパスとの「相互協力協定」に基づき、新産業の創出による地域振興のため、海洋調査研修船「望星丸」に乗った東海大学海洋学部の学生が来根されました。その中で、根室市の歴史や海に関する研修の一環として学生80名が歯舞組合を訪れました。

当組合ではこの3日間、高碓達之助先生が日露間で締結させた「貝殻昆布協定」について説明し、現在の貝殻島周辺での安全操業を実現させた歴史等について説明をしました。生徒の皆さんはとても熱心に授業を聞いており、質疑の時間では、たくさんの質問があり、大変盛り上がりしました。

これからの水産業や漁業等を担う若人達にとって、今回の授業が少しでも参考になればと思います。



<高知県から北方領土復帰促進少年少女視察団を受入>

8月18日(木)に高知県から北方領土復帰促進少年少女視察団25名(引率含む)を受入れしました。

新施設での受け入れは今回が第一号です。これほどの大きな施設が北海道の最東端にあることに、皆さん驚いていました。



<根室高校1年生「総合的な探求の時間：地域巡検」>

10月25日(火)、26日(水)、28(金)、31日(月)の4日間にわたり、北海道根室高等学校の1年生が「総合的な探求の時間：地域巡検」としての学習で当組合を訪れました。

その生徒の数、なんと197名!!(※引率等含む)

これまでに受入れをしてきた中でもかなり多い生徒の皆さんにお越しいただきました。

今回の受入れは、市場のセリ見学・開発店舗の見学の他、マリンビジョンの取組み(水産物のブランド化、都市漁村交流事業等)及び貝殻昆布協定の歴史についての講話を行い、最後に昼食の提供もしました。

楽しく学び、美味しいごはんも満喫できたようで、我々も受入れた甲斐がありました!

これをきっかけに、少しでも歯舞と水産業に興味を持っていただけたらと思います。



<立命館大学の学生が見学>

9月21日(水)、立命館大学(大阪キャンパス)の生徒20名が当組合施設を訪れました。前回の高知県北方領土青少年少女視察団に続き、学生の皆さんによる施設見学は今回が2回目になります。



歯舞学園の水産学習を実施

<7年生対象 あさりの稚貝移植作業>

6月15日(水)に歯舞学園の水産学習の一環であるあさりの稚貝移植作業が行われました。

はじめに、あさり部会の長山吉博部会長(当組合監事)が講師となり、歯舞学園7年生の生徒18名を対象に水産学習の一環として、歯舞学園校内にて稚貝移植前に座学授業、そしてあさり漁場での実習を行い、生徒の皆さんに学んで頂きました。

生徒の皆さんは漁場に着き、道具を受け取るや否やとても楽しそうに作業をしていました。今回のように楽しく水産学習を行い、漁業の成り立ちをどんどん学んでもらいたいと思います。



<4年生対象 歯舞漁協施設見学>

10月12日(水)、歯舞学園4学年を対象とした水産学習として、歯舞漁協の施設見学を実施しました。

まずはじめに、今年は市場施設から見学しました。今回はとても新鮮な活だこを見てもらい、世界一大きく育つタコを見た生徒の皆さんは好奇心いっぱいの表情でのぞき込んでいました。

次に向かった先が製氷工場です。いぎ工場内に入ると沢山の氷が積んであり、その迫力と寒さに驚愕し、「寒い!」と楽しそうな叫び声が工場中に響き渡っていました。

そしてなんといっても今年の施設見学は、新しい事務所になってから、歯舞学園生徒による見学生第一号でもあります。今後も水産学習が、未来の漁協職員・水産関係者になるためのきっかけになってくれると嬉しく思います。



さけます流し網漁が解禁

5月3日(火)午前0時、日本200海里内さけます流し網漁が解禁されました。例年では4月10日頃に一斉出漁となりますが、今年はロシアのウクライナ侵攻による影響があり、当初は出漁ができるかどうか危ぶまれておりましたが、5月2日(月)23時40分、歯舞市場事務所にて8隻の出漁船に無事、許可証が交付されました。

日が変わり、3日(火)0時00分、4隻が一斉に出港、勇躍漁場向けいたしました。安全操業と豊漁である事が我々の願いです。



日本一遅く咲く桜並木の整備事業



5月13日(金)午前9時、今年で16年目を迎える「日本一遅く咲く桜並木」の整備を行いました。

今回も歯舞漁港背面地に成木2本を植樹しましたので、これまで植樹した163本の桜と合わせ、合計165本となりました。

歯舞地域は、根室市内よりも気候が涼しいため、咲くまでに時間がかかりますが、今年は去年より4日ほど早くかわいいお花を無事に咲かせてくれました。

また、歯舞地域は潮風が強く、桜が育ちにくいと言われておりますが、多くの方々から寄贈していただいた大切な桜なので、専門家にアドバイスをいただきながら、毎年立派な桜が咲くようしっかりと整備していきたいと思っております。



歯舞地区津波避難訓練

5月15日(日)正午、歯舞地区津波避難訓練を歯舞新光第2町会、歯舞第1町会、歯舞第2町会、歯舞第3町会と歯舞漁協の合同で根室市と根室警察署ご協力のもと実施しました。

訓練は大地震と大津波警報が発表された事を想定したもので、根室市の防災無線と歯舞漁協の共聴無線放送による合図で、津波緊急避難場所である中澤牧場向かいの空き地へ避難開始。参加した地域住民の皆さんは、今年で5年目ということもあり、車や徒歩でスムーズに避難していました。

また、根室警察署の原課長から、根室地域はマグニチュード7.8~8.5の大地震が起こる確率が80%程度と非常に高い地域である(全道で第1位、全国区で見ても第2位)とお話があったことから、地域住民と職員らは日頃から地震や津波等、防災への意識を高く持つことを心掛け、万が一に備えたいと思っております。



避難の様子



歯舞地区の
ハザードマップ

前浜昆布調査を実施

5月16日(月)、令和4年度第1回前浜昆布調査が実施されました。朝7時に調査船が各漁港より出港、採取された調査昆布は当組合の市場へ搬入されました。

この調査は、昆布の着生・生育状況及び昆布漁場環境の調査が目的となります。

昆布の生育状況について、今年はたくさんの流水が接岸した影響により、例年よりも着生状況が危惧されておりますが、なんとか今年も無事に昆布がたくさん採れますよう、我々は漁師の皆様を応援しております。



「小型漁船で操業する漁業者への防災情報の伝達システム」が NHK に取材



5月18日(水)、Jアラート発信による動作確認がNHKで報道されました。

当組合のほか、(一財)漁港漁場漁村総合研究所と根室市、日本無線(株)と共同で研究している「小型漁船で操業する漁業者への防災情報の伝達システム」がNHKに取材され、ネットニュースになりました。

「令和4年度産地市場関係者のための HACCP 関連講習会プログラム」

6月18日(土)に「令和4年度産地市場関係者のためのHACCP関連講習会プログラム」が開催され、市場部職員の他、仲買人の皆様が多数参加されました。

今回のプレゼンターは、(一社)海洋水産システム協会より岡野利之氏、(株)クマシロシステム設計より河合孝治氏、日本事務器より西村氏・神谷氏から発表を頂きました。

これからの漁協の在り方として、まだまだ学ぶことは沢山あり、今回ご教示いただきました皆様に厚く感謝を申し上げます。



高碓達之助先生の顕彰碑に献花

6月20日(月)納沙布岬の高碓達之助先生の顕彰碑にて、「故 高碓達之助先生」・「故 川端元治先生」に対し、献花を行いました。お二方は貝殻昆布漁業誕生の功労者であり、歯舞漁民にとって大恩人です。

今年も残念ながら、毎年行っている「貝殻島区域昆布採取漁船出漁証明書伝達式」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となりました。



今回は朝から雨模様で、献花も雨の中で参列かと思いきや、献花をするほんの一時になんと雨が上がる奇跡が起きました。

例年と比べ、交渉が長引いてしまった貝殻昆布操業でありましたが、貝殻昆布を築き上げた先人たちへの感謝を忘れず、漁業者皆様の安全と豊漁である事を祈っております。

貝殻島昆布漁 始まる

6月22日(水)午前6時、操業開始のサイレンが鳴り響く中、朝日の映える納沙布岬から昆布漁船が貝殻島周辺操業区域に向けて全船一斉に出漁しました。

今年は例年と比べ、操業時期が大幅に遅れてしまう事態となってしまいましたが、関係者皆様の努力により無事に操業初日を迎えることができました。



近年、昆布の資源量は減少傾向にありますが、今年こそ豊漁を願い、事故なく昆布漁を終えられるよう、願っています。昆布漁師の皆さん、頑張ってください!

中央大学で講演会

6月23日(木)、東京都にある中央大学にて、当組合の中村常務理事が「マリンビジョンの取組と新施設の建設までの歩み」と題し、生徒約30名に対し講演会を実施しました。



この講演会では、これまでのマリンビジョン活動として実施してきた「ブランド化の取組・都市との漁村交流(渚泊推進事業)」等について紹介。これらの活動を継続し、地域活性化に向けた取組みをしたとの評価を受け、歯舞漁港における「人工地盤施設」と「組合新施設」の建設に至ったと説明しました。

また、新施設に関しては、「衛生管理機能」・「防災・減災機能」・「水産物流通機能」・「都市漁村交流機能」と4つの機能を兼ね備えた施設であり、9月からの供用開始後については、本施設をフル活用し、「最東端の海からのメッセージ」を全国に広げていきたいと抱負を語りました。

北海道マリンビジョンコンテスト21表彰式

7月11日(月)、札幌市にて令和4年度北海道マリンビジョン21促進期成会の総会が開催され、北海道マリンビジョンコンテスト21の表彰式が行われました。

本コンテストは、新型コロナウイルス感染拡大による影響から中止が続き、2年越しの開催となりましたが、無事に表彰を受けることができました。今回の表彰結果については、2019年度のマリンビジョン活動における実績が評価され、コンテストの最高位でもある「最優良賞」に選ばれました。

このような栄えある賞に選ばれたのも、関係者皆様のご協力を頂いた賜物と思います。

今後とも応援・ご助力のほどよろしくお願いたします。



北海道マリンビジョン21コンテスト受賞歴

年次	部門	受賞名
2008年(平成20年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
	個別部門	北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2009年(平成21年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2011年(平成23年)	個別部門	北海道マリンビジョン21促進期成会会長賞
2012年(平成24年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2015年(平成27年)	総合部門	北海道開発局長賞(最高位)
2017年(平成29年)	—	優良賞
2018年(平成30年)	—	最優良賞(最高位)
2019年(令和元年)	—	最優良賞(最高位)
2020年(令和2年)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止
2021年(令和3年)	—	新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

※2017年度コンテストより「個別部門」の廃止

組合新施設と人工地盤施設の見学会

7月29日(金)、北海道開発局(国土交通省)の職員18名が来所され、当組合で行っているマリンビジョン活動の講演会を開催し、その後、組合の新施設と人工地盤施設の見学会が行われました。

講演会では、当組合で活動してきたマリンビジョンの取り組みとして、「マリンビジョンの取組と新施設の建設までの歩み」と題して発表し、「漁業部会」品運動に基づいた各種ブランド化商品の紹介や、渚泊推進事業、全国各地における講演活動やSNSを利用した情報発信等、あらゆる面で活動している実績について講じました。

こういった功績が認められ、国からの補助金の助成もあったことから、「衛生管理機能」・「防災・減災機能」・「水産物流通機能」・「都市漁村交流機能」と4つの機能を兼ね備えた新施設を建設することができました。

講習会の終了後は、実際に新事務所へ案内しました。開発局の職員からは「大きくてとても綺麗な施設ですね」と称賛のお言葉を頂戴し、うれしい限りです。



札幌市にて「まるごと根室直送市」を開催



9月22日(木)~24日(土)の3日間、札幌市の北海道庁赤れんが庁舎前庭にて「まるごと根室直送市」が開催されました。

今年も新型コロナウイルス感染拡大の影響から、例年大好評のさんまの炭火焼等の飲食物の提供はありませんでしたが、根室で獲れた新鮮な魚介類や水産加工品等を産地根室価格で販売しました。



シーサイドクリーン活動

10月23日(日)友知・桂木海岸にて3年振りにシーサイドクリーン活動が実施されました。

この活動は、市民の憩いの場としての美しい海岸を保つため、市民一丸となった協働事業として、海岸に漂着するプラスチック容器類などの収集を目的とした清掃活動を行うものです。

参加人数はなんと388名!地域住民のみならず、市役所職員や開発局、振興局職員や関係会社等の他、当組合からも数名参加させていただきました。

3年振りとなるため、大なり小なりごみが沢山漂着していましたが、全員で1時間近くかけて清掃しました。



秋の一斉清掃

11月11日(金)、歯舞漁港内で『秋の一斉清掃』を実施しました。

歯舞漁港愛護会、歯舞漁協女性部や近隣の地区運営会、そして当組合職員が参加し、清掃作業を行いました。3年振りになるため、ごみが沢山漂着していましたが、全員で1時間近くかけて清掃しました。

こういった清掃作業は、2015年に国連サミットで採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」の一つでもあり、港を綺麗にするというのはもちろんのこと、ごみを海へ出さない等環境保全活動の一環となるため、とても重要な活動となります。

今後とも一人ひとりが環境保全に強く意識を持ち、「きれいな港づくり」を心掛けていきましょう。



★フェイスブックを活用したPR活動も行ってまいります。
下記のQRコードをスマートフォンで読み取り、ご覧ください。

根室地域(歯舞地区) マリンビジョン協議会

歯舞漁業協同組合では、フェイスブックを活用したPR活動も行ってまいります。
まだご覧になった事のない方はぜひ下記QRコードをチェック!



←左記のQRコードをスマートフォンで読み取りください。

QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

■編集・発行・お問合せ■

- ・編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会
- ・お問合せ 歯舞漁業協同組合 総務部
- ・電話 0153-28-2121 FAX: 0153-28-2320

～ おわりに ～

新型コロナウイルスの感染拡大により、毎年恒例となっていた「歯舞おさかな・こんぶ祭り」「漁民泊」など、これまで続けてきた取り組みの中止を余儀なくされましたが、一方で感染対策を講じながら実施できた取り組みも多くあり、これもひとえに関係者皆様のご協力のお蔭と、心より感謝申し上げます。

今後も歯舞地域の活性化に向け、マリンビジョン活動を継続実施して参りたいと思いますので、皆様からの熱い応援とご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

- 編集・発行 歯舞地区マリンビジョン協議会事務局
- お問い合わせ 事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当
電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

